

～早春の市田邸で、『“げん” 結び - 音楽と文学 -』を愉しむ！～ 「十二夜から廻る “うた” の世界」

市田邸 × “げん” 結び

「げん」結び-音楽と文学-は、音と音との縁を結び、新たな形の音楽空間を現すことを目指したプロジェクトです。言葉と器楽演奏による楽曲を新しく制作し、文学作品と関わりのあるクラシックや現代音楽の器楽曲、文学作品の影響を受けたロックの編曲作品などと組み合わせ、演奏会を重ねています。発足より、シェイクスピアの喜劇作品をプロジェクトの中心に据え、シェイクスピア作品を音楽的視点から再構成し、言葉とは何か、音楽とは何かを問いながら、物語の世界、言葉の世界の面白さを探求しています。

◆主催：NPO 法人たいとう歴史都市研究会

◆会場：**上野桜木・市田邸**（国登録有形文化財建造物）
東京都台東区上野桜木1-6-2
（JR 上野駅公園口より徒歩約 10 分、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩約 10 分）

◆開催日時：平成 **31** 年 **2** 月 **16** 日（土）
開場（受付開始）14 時 30 分
開演 15 時 00 分（終演予定：17 時 00 分）

◆出演・制作：“げん” 結び実行委員会 佐藤翔（チェロ）、桑原ゆう（作曲）、大石泰（台本）

◆共演：市川 泰明（テノール）、福島 梓（語り）

◆演目

■田口和行（作曲）／大石泰（台本）／ウィリアム・シェイクスピア（原作）：
「十二夜」～テノールを伴うチェロと語り手のための～ 2017]

■桑原ゆう：

- ・“あかし” による歌の形式 [2018] 新作初演
 - ・かたち、あや、あるいはすがた [2017]
 - ・セレナード シェイクスピアのソネット 43 番による [2017]
 - ・作者不詳／桑原ゆう編曲：おいらが小っちゃな餓鬼の頃 [2017]
 - ・F. プーランク／桑原ゆう編曲：気まぐれ FP174 (Ten.Vc 版) [1959/2019]
- ※演奏曲目は都合により変更になる場合がございます

◆参加費：一般 **3,000** 円 たい歴会員・地元住民割引 **2,700** 円

☆休憩時間には、お茶・珈琲またはワインと、お菓子などを、セルフサービスにて提供させていただきます。



〈「げん」 結び〉プロフィール〉

チェロ奏者の佐藤翔と作曲家の桑原ゆうが大石泰（東京藝術大学教授）の協力のもと 2016 年に立ち上げる。

東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京、平成 28 年度東京芸術文化創造発信助成団体として Vol.1 「間違いの喜劇」、Vol.2 「十二夜、あるいは、お好きなように」、各 4 公演・合計 8 公演を、さいたま芸術劇場小ホール、井政一神田の家、安養院にて開催。2017 年には、たいとう歴史都市研究会主催のもと、上野桜木に在る国登録有形文化財建造物・市田邸にて公演を行う。



〈お問い合わせ & お申し込み先〉

NPO 法人たいとう歴史都市研究会（担当：菅原、中村）

FAX:03-5834-8044 E-mail:ichidatei@taireki.com 携帯電話:090-3347-9472

お申し込み方法：参加ご希望の方は、お名前・ご住所・電話番号・参加人数をご記入のうえ上記の FAX もしくは E-mail にてお申し込みください。